

令和元年度 事業報告

I. 会議の開催状況

1. 理事会

- (1) 令和元年5月31日 第24回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。
 - ①平成30年度事業報告並びに収支決算について
 - ②評議員会の開催について

- (2) 令和元年7月10日 第25回理事会は理事及び監事全員の書面により次の事項について決議があったものとみなされた。
 - ①役員の選定について

- (3) 令和2年2月17日 第26回理事会は理事及び監事全員の書面により次の事項について決議があったものとみなされた。
 - ①評議員会の開催について

- (4) 令和2年3月27日 第27回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。
 - ①令和元年度事業会計予算の補正について
 - ②令和2年度事業計画並びに事業会計予算について
 - ③報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

2. 評議員会

- (1) 令和元年6月20日 第16回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。
 - ①平成30年度事業報告並びに収支決算について
 - ②役員の選任について
 - ③評議員の選任について

- (2) 令和2年3月27日 第17回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。
 - ①役員の選任について
 - ②定款の一部変更について
 - ③常勤役員の報酬額について
 - ④報告 令和元年度事業会計予算の補正について
 - ⑤報告 令和2年度事業計画並びに事業会計予算について
 - ⑥報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

3. 監査

令和元年5月22日 平成30年度決算について監事から監査を受けた。
監査の結果、事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書は適正であると認められた。

4. 賛助会員合同会議

令和元年7月31日 賛助会員との連携を深めるため合同会議を開催し、記念講演を行ったほか、観光事業功労者及び観光施設優良従業員の表彰を行った。

5. 法人の経営等に関する情報公開

定款、事業計画書、予算書、事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書をホームページで公開している。

II. 業務の概要

1. 観光振興事業

観光振興事業では、リニューアルした観光情報サイト「阿波ナビ」を活用し、タイムリーな情報を発信するとともに、SNSによる情報発信に努めたほか、市町村や観光関連団体と連携した新たな観光資源の発掘や支援、観光商談会等への参加による誘客促進に努めた。また、県からの受託事業として、官民一体となって観光プロモーションを実施する「千客万来！「オール徳島」観光誘客プロモーション事業」や、旅行商品のバス料金を助成する「周遊促進！徳島観光すいすい事業」等を実施した。

2. コンベンション振興事業

コンベンション振興事業では、国際 MICE エキスポやコンベンション誘致懇談会等に参加し、誘致活動や情報発信に努めたほか、主催者に対し開催費の助成や郷土芸能等アトラクション、シャトルバス運行等の助成を行った。

海外からの MICE 誘致等促進事業としては、VISIT JAPAN トラベルマーケット 2019 等へ参加するとともに、県や四国ツーリズム創造機構等と協力し、中国、香港、台湾、韓国、東南アジアでの営業活動のほか、旅行会社や教育旅行関係者等の招請事業等を実施した。

3. 施設等管理運営事業

「アスティとくしま」と「ときわプラザ」の運営については、「安全・安心・快適」で「利用しやすい」施設づくりに取り組み、利用促進や地域の活性化を目的とした自主事業等を積極的に開催した。

「渦の道」と「大鳴門橋架橋記念館エディ」の運営についても、自主事業の開催や国内外の旅行会社等に対し営業活動を行い、入館者数の拡大と顧客満足度の向上に取り組んだ。

観光振興事業

1. 自主事業

(1) 観光宣伝・情報発信事業

① 観光情報等の発信事業

ア. 観光情報サイト「阿波ナビ」発信事業

平成31年3月にリニューアルした観光情報サイト「阿波ナビ」を活用し、年間を通してタイムリーな情報を発信するとともに、新たに導入した観光案内AIを育成するためログ情報の収集、ワードやQ&A情報の追加などに努めた。

イ. SNS発信事業

阿波ナビ公式Facebook、Twitter、Instagramを運用し、週末のお出かけ情報や各地で撮影した写真などを随時公開し拡散に努めた。

ウ. 観光案内事業

電話やお問合せフォームへの観光案内について、ニーズに合わせた情報提供を適宜実施し、旅行のサポートを行うとともに、パンフレットの送付時に季節ごとのオススメ観光情報を掲載した送り状を同封する、「プラス1作戦」を実施し情報発信の強化拡大に努めた。

② 徳島観光情報ステーション管理運営事業

淡路島南パーキングエリア下り線の「徳島県観光情報ステーション」において、パンフレット、ポスター、のぼり、映像等により徳島県の観光情報を発信し本県への誘客を図った。

③ とくしま観光情報通信員の活用事業

県内各地の旬の観光イベント情報等を地元の方に情報提供していただく「とくしま観光情報通信員」制度を活用し、リニューアルした阿波ナビに見やすくタイムリーに掲載し情報発信に努めた。

（情報掲載件数）33件

(2) 観光客誘致促進事業

① 着地型旅行商品造成支援事業

市町村やDMO等観光関連団体と連携して、既存観光資源に付加価値をつけた商品開発や、新たな観光資源となりうる素材を発掘し、着地型旅行

商品の開発や造成の支援を行うとともに、商品の魅力を国内外に発信し本県への誘客促進に努めた。

（支援実績）豆切り下駄鼻緒付け体験、阿波和紙藍染線香花火製作体験等

② 企業・大学等研修向けプログラム造成支援事業

本県の豊かな自然を活かした各種体験等を、SDGsやチームビルディングの要素を取り入れた人材育成向けプログラムとしてブラッシュアップし、企業の新人、社員等の人材育成研修向け商品として整備するとともに、誘客を図るため徳島県人会近畿連合会や徳島県の企業に紹介した。

（実績例）林業間伐体験、サンゴの移植体験、押し寿司作り体験

実施団体：南阿波よくばり体験推進協議会

③ 地域密着型旅行AGTへの観光情報発信事業

全国旅行業協会の各県支部や地域密着の旅行AGTに観光情報を提供し、新たな観光客の掘り起こしを図るとともに、大手旅行AGT等へも同様の情報提供を継続実施した。

（情報提供先）大阪、広島、岡山、和歌山、兵庫、京都、奈良、鳥取、滋賀、島根、山口 計480社

④ 四国四県観光協会連合による四国域内流動活性化事業

四国4県の観光協会が協力し、四国内での域内交流を活性化するため、商業施設でのキャンペーンや、JR四国主要駅等に観光パンフレットを設置し情報発信を行った。

また、おもてなし四国を推進するため、観光客が感激したおもてなし事例を募集・選考し、表彰する「おもてなし感激大賞」事業を継続実施した。

（第4回おもてなし感激大賞受賞）準大賞：大歩危峡観光遊船有限会社

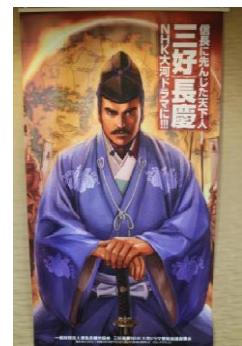
⑤ 観光商談会等への参加事業

四国ツーリズム創造機構やJR四国等が主催する観光商談会、3旅連主催のPRキャラバン等に参加し、本県の観光情報をPRし誘客を図った。

⑥ NHK大河ドラマ誘致推進協議会事業

NHK大河ドラマ誘致推進協議会事務局を当協会内に設置し、「戦国最初の天下人 三好長慶をNHK大河ドラマに！」を実現するため、阿波ナビでの広報活動やリーフレットを作成し署名活動、シンポジウム等を行った。

また、誘致推進協議会（関西）と協力しタペストリーを作成した。



(3) 観光客受入対策事業

① 外国人受入態勢整備事業

体験施設や観光ガイドにおける体験手順やガイドポイントを多言語表記（中国語(繁体字)）に翻訳し、阿波ナビ多言語FBで発信し外国人受入態勢の整備に努めた。

(整備実績) 美馬和傘ランプシェード製作体験、豆切り下駄鼻緒付け体験

② 県内における二次交通利用促進事業

高速バス、フェリー、路線バス、鉄道等既存交通機関をつなぐ周遊きっぷや、フリー乗車券の発行による、徳島県内及び関西からの周遊性や利便性の向上を図るため、交通事業者等に協力を依頼した。

③ 観光人材育成研修事業

観光ボランティア団体や体験型観光事業者、市町村観光担当者等、観光事業関係者の人材育成を図るため、栗林公園ボランティアガイドを講師に迎え3月に研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(4) その他の事業

観光振興面で功績のあった観光事業功労者4名・1団体、観光施設優良従業員2名を当協会賛助会員合同会議で表彰した。

また、過去の被表彰者の中から(公社)日本観光振興協会四国支部表彰に該当する適格者として、観光事業功労者2名、観光関係優良従業員1名を推薦した。

2. 県からの受託事業

(1) 千客万来! 「オール徳島」観光誘客プロモーション事業

「オール徳島」で旅行需要を喚起させるため、官民一体となった「観光プロモーション」を実施し、一般消費者や旅行会社向けの誘客営業を展開した。

① 「#徳島あるでないで」キャンペーン事業

大手旅行会社(OTA含む。)や航空会社とタイアップし、各社ホームページでの宿泊プラン等の設定や割引クーポンの発行など、本県の誘客推進につながるキャンペーンを実施した。

② 旅行会社向けセールス事業

旬の観光素材や助成制度を周知するため、主要都市において旅行会社向けの観光セミナーやセールス等を実施するとともに旅行会社への助成を行い、本県への旅行商品の造成を促進した。

ア. 商談会・観光セミナー等の開催

東京都他3都市で、旅行会社の企画、造成担当者等を対象とした商談会やセミナーを開催した。

- ・「オール徳島」観光商談会

(開催日) 令和元年5月22日(水)

(開催場所) ホテル雅叙園 (東京都)

・徳島県観光セミナー

(開催日) 東京 令和元年8月21日(水)

大阪 令和元年8月29日(木)

札幌 令和2年2月12日(水)

福岡 令和2年3月13日(金) (※)

(開催場所) 東京 都道府県会館

大阪 ハートンホール日本生命御堂筋ビル

札幌 日本航空札幌支店

福岡 日本航空福岡支店 (※)

(※) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

・東京都旅行業協会PR

(実施日) 令和2年1月23日(木)

(開催場所) ヒルトン東京

イ. 旅行会社向けの資料作成

県外での商談会や観光セミナー、旅行会社への営業活動のために必要な徳島県観光素材集の改訂を行うとともに、観光ポスター等を作成した。

ウ. 旅行会社への営業

各地への出張等の機会を捉えて各県の旅行業協会や旅行会社を訪問し、観光素材や助成制度等の説明を行った。

エ. ファムツアーの実施

旅行会社の造成担当者等に徳島県の観光施設等を視察してもらうためのファミツアーを実施した。

(実施日) 令和元年10月10日(木)～11日(金)

(参加者) 大手旅行会社：大阪市、広島市の営業所造成担当者5社8名

(視察先) JF北灘さかな市、技の館、阿波おどり会館、お松大権現、太龍寺ロープウェイ、薬王寺等

オ. 旅行会社向けの支援

旅行会社向けの助成金を交付し、旅行会社への支援を行った。

・とくしま旅行会社視察助成事業

観光誘客を促進するため旅行会社の社員が行う視察旅行に対して経費の一部を助成した。

(視察件数) 5件

(視察人数) 8名

・個人旅行推進事業

観光誘客を促進するため旅行会社の発行する募集型企画旅行（個人型）に係るパンフレット作成に対して経費の一部を助成した。
（パンフレット数）19件

③ 一般向け観光プロモーション事業

メディアを活用した観光プロモーションやメディアでの徳島県観光情報の発信等、一般向けの観光プロモーションを実施した。

ア. プレスツアーの実施

特に女性をターゲットとした宿泊客増を目的に、海鮮料理や阿波尾鶏、ラーメン等の徳島グルメをメインテーマとしたプレスツアーを実施した。

（実施日）令和元年9月12日（木）～13日（金）

（参加者）首都圏、関西圏のWEBメディア11社、11名

（視察先）大塚国際美術館、霊山寺、阿波おどり会館、料理店等

イ. 観光情報の発信

トラベルニュース新聞（全国版）や、フリーペーパーシティリビング（関西版）に徳島県の観光施設等を掲載してもらうことにより、大都市圏等の住民向けに観光情報を発信した。

（2）周遊促進！徳島観光すいすい事業

観光誘客を促進するため、旅行会社が造成する企画旅行商品に対して貸切バス料金の一部を助成した。

（ツアー数）138本

（バス台数）284台

（集客人数）10,593名

（3）とくしまロケーション・ブランド発信事業

撮影関係者に対する有用な情報提供や、徳島でのロケ誘致活動を実施するとともに様々なロケ支援を行い、メディアを介した本県観光情報発信の露出増加に努めた。また、「第5回ふるさと甲子園（東京都）」に出展し、映像制作関係者等に本県のロケーション情報等を提供しPRに努めた。

（撮影支援）66件

（4）魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客推進事業

観光誘客を促進するため、阿波ナビやSNS、観光パンフレット等での情報発信やクルーズ船への観光PR、県内開催のイベントに対し支援を行った。

・ふるさとカーニバルを通じた観光誘客

第42回「ふるさとカーニバル阿波の狸まつり」（11/2～11/4）への助成により、郷土芸能の発表や各市町村の特産品など徳島の魅力をPRする取り組みを支援した。

(5) 体験型ステップアップ事業

体験型観光の先進地として更なる飛躍を図るため、南阿波よくばり体験推進協議会、その郷が取り組む、民泊体験や漁業体験、マリンスポーツ体験等のプロモーションビデオ制作を助成し支援した。

(6) 阿波おどり「とくしま連」運営事業

徳島県のイメージアップを図るとともに、郷土の伝統芸能である「阿波おどり」の継承やこれによる観光客の誘致促進を図るため、阿波おどり「とくしま連」の運営に係る業務を行った。

(7) 観光情報提供システム整備事業

平成31年3月に全面リニューアルした徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」の適切な維持管理を行い、観光客の誘致促進や受け入れ態勢の充実を図った。

(8) 「スポーツ王国」立国事業

県内スポーツ施設及びスポーツ合宿施設等と連携し、県外の企業・大学等のスポーツ合宿誘致や交流試合の実施による各施設の有効利用や交流人口の増加を促進し、徳島へのリピーター拡大を図った。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により合宿3団体が中止となった。また、同感染症の影響により次年度スポーツ合宿誘致に向けた旅行会社への営業訪問を延期した。

(おもいでづくりサポート) 9団体

(9) 訪日教育旅行等ニューツーリズム推進 (Visit Tokushima 千客万来事業)

訪日旅行ニーズの多様化に合わせ、教育旅行やスポーツ観光などの「徳島ならではの」コンテンツと観光を組み合わせた、「ニューツーリズム」の企画及びPRを行い、旅行商品の造成を促進した。

(10) 着地型観光・コンベンション事業

着地型旅行商品に活かせるサポートツールを作成し、旅行AGTへの売り込みを行うとともに、コンベンション開催決定後にPR動画を提供するなどのサポートを行った。

(プラン例) 原始の火おこしとアメゴつかみ取り&串焼き体験、ゼロウェイストゴミ分別体験等

(11) 阿波おどり「春夏秋冬エキサイティング」事業

閑散期である冬期の観光誘客を促進するため、阿波おどりを組み込んだ企画旅行商品や誘客イベントに対して経費の一部助成を行った。また、商談会等で助成制度の周知PR活動を行った。

(助成ツアー数) 5件

(集客人数) 194名

3. 収益事業

(1) 自主財源の確保

① 徳島県観光ガイドマップ作成事業

新たに作成した「徳島県観光ガイドマップ」について、掲載内容やレイアウトを見やすく変更するとともに、QRコードから電子ブックとしてスマートフォンやPCで閲覧が可能となる機能を付加した。

(発行部数) 20万部



② とくしま花へんろカレンダー作成事業

第13回とくしま花のある風景フォトコンテスト入賞作品を掲載した「2020 とくしま花へんろカレンダー」を作成し、協賛企業等へ販売を行った。

(製作部数) 22,700部 協賛企業：20,700部/23社
当協会名：2,000部

③ 当協会封筒への広告掲載事業

新たな事業として、当協会封筒の裏面に観光関連企業や団体等のPRができる広告スペースを設け、広告掲載を募集し4枠を掲載した。

(発行部数) 角2封筒：10,000部



④ 阿波おどりベンダー事業

ダイドードリンコ(株)及び四国放送(株)の協力により、オリジナル自動販売機「阿波おどりベンダー」による阿波弁の音声や、阿波ナビのQRコードにリンクさせ、本県の観光情報を発信した。

また、ベンダー売り上げの一部は、本県の観光振興に役立てることを目的に、令和2年3月10日に贈呈式が行われた。



コンベンション振興事業

1. コンベンション振興事業

(1) 情報発信事業

① コンベンショントレードショーへの参加

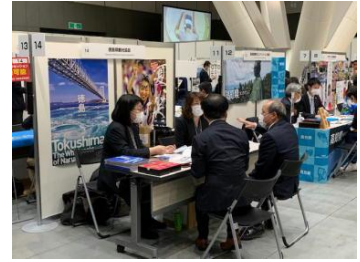
ア. 第29回国際 MICE エキスポへの参加

国内外の主催者等に対して、施設・ホテル情報や、助成制度等各種支援について紹介し、本県へのコンベンション誘致に努めた。

(日 程) 令和2年2月26日(水)

(場 所) 東京国際フォーラム(東京都)

(来場者) 858名



イ. 中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会への参加

中国四国地区のコンベンション推進団体と協力して懇談会を開催し、コンベンション主催団体に向けた情報発信を行った。

(日 程) 令和元年12月5日(木)

(場 所) 品川プリンスホテル(東京都)

(招待者) 87団体、136名

ウ. 大阪MICEデスティネーションショーケース2019への参加

国内外のMICE主催団体に対して誘致を行い、特に国外のインセンティブツアー主催団体に対し「関西プラス徳島」のルートを提案し、アフターコンベンション誘致に努めた。

(日 程) 令和元年12月2日(月)

(場 所) コングレコンベンションセンター(大阪市)

(来場者) 576名

② コンベンションセミナーの開催

県内の主催者を対象に、各種支援、助成金等を紹介するセミナーを3月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(2) 誘致対策事業

① 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」の運営

産官学民総連携の協議会の会員にコンベンションカレンダーや助成制度の情報を提供し、県内の各種関係団体と連携した誘致活動を推進した。

なお、3月に同協議会開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

② 企画提案・視察支援事業

主催者等への企画提案に活用するため、アスティとくしまで開催された大規模コンベンションの様子を4K動画で撮影し、コンベンショントレードショー等の商談会や学会等で配布しPRに努めた。

(3) 受入支援事業

① コンベンション支援助成金の交付事業

コンベンション主催者に対し開催費を助成するほか、郷土芸能等のアトラクション助成やシャトルバス運行等の助成を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により6件が交付中止となった。

(交付件数) 69件

(交付金額) 51,058,124円

② 主要観光施設の紹介及び割引制度の提供事業

コンベンション参加者に対して、各種観光パンフレットを提供するとともに、県内観光地の優待割引制度を提供し、県内での滞在性や周遊性を高めた。

(優待券発行) 30,000部

③ 歓迎看板の設置事業

参加者が500名以上の全国規模のコンベンション開催時には、徳島阿波おどり空港及びJR徳島駅に歓迎看板を設置した。

また、大規模なコンベンション開催時には、ホテル、飲食店等の入口に歓迎ポスターを掲示し、街を挙げての歓迎ムードを高めた。

(歓迎看板設置) 17件

(歓迎ポスター配布) 9件



④ 主催者からの受託事業

大規模学会等の開催時に、各種調整や支援に努め利便性の向上を図った。

(空港からのシャトルバス調整) 2件

(会場での阿波踊り出演調整) 1件

(コングレスバッグ提供) 13,199枚



(4) 各種情報の収集と提供事業

国内及び国際コンベンションの誘致を促進するため、観光庁やJNTO(日本政府観光局)、JCCB(日本コングレス・コングレッションビューロー)等のノウハウや諸情報を活用するとともに、県や市町村、大学等の関係機関と連携し、開催計画などの情報収集や意向調査を行った。

① 主催者アンケート等の実施

主催者やコンベンション施設、旅行会社等に対しアンケート調査を行い、誘致策の情報収集に努めた。更に、開催終了後に主催者等から意見を集約し、今後の誘致、支援策定の知見を深めた。

② 各種MICE会合への参加

各種関係機関が開催するセミナー等に参加するとともに、同規模の学会等が開催される都市のMICE関連機関と連携を図るなど、積極的な情報収集に努めた。

- (セミナー等) 日本観光・観光推進協会(令和元年6月17日:東京都)
中国・四国地区観光推進協議会総会(令和元年7月11日:広島県)
(誘致連携) 浜松・浜名湖ツーリストビューロー(令和2年1月29日~30日:大会主催者等訪問営業)

(5) 海外からのMICE誘致等促進事業

① 徳島国際観光・物産交流特使制度事業

主に国外に在住し、本県と交流がある徳島ファンの方に特使を依頼し、観光・物産の魅力発信や交流促進を図った。

今年度、新たに香港の旅行会社の方を特使に委嘱し、活動支援として名刺、藍染名刺入れ、多言語のパンフレット等を提供した。

(登録人数) 台湾 15名、中国 3名、香港 1名、韓国 8名、日本 1名、計 28名

② 徳島国際観光サポーター事業

徳島県国際交流協会等と協力し、県内在住の外国人に徳島国際観光サポーターに就任していただき、阿波ナビ多言語版フェイスブック等を活用した観光情報等の発信や、ファミツアー、視察等で通訳や翻訳を行った。

なお、3月に県内観光地等の現地研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期した。

(登録人数) 中国 3名、アメリカ 1名、ベトナム 4名、計 8名

③ 各種インバウンド商談会への参加

ア. VISIT JAPAN トラベルマート 2019 EAST ASIA

(日 程) 令和元年6月18日(火)~19日(水)

(場 所) アスティとくしま

(招待者) 76社

(商談数) 22社

イ. VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2019

(日 程) 令和元年10月24日(木)~26日(土)

(場 所) インテックス大阪

(招待者) 329社(内 MICE バイヤー 22社)

(商談数) 27社

ウ. VISIT JAPAN Travel Mart 2019-ASEAN・INDIA-

(日 程) 令和元年11月27日(水)~28日(木)

(場 所) 愛知国際展示場 Aichi Sky Expo(愛知県常滑市)

(招待者) 80社

(商談数) 23社

④ 中国・香港からの誘致

ア. 商談会・営業活動

・香港国際旅行展示会(ITE2019)

(日 程) 令和元年6月13日(木)~15日(土)

(場 所) 香港コンベンション&エキシビジョンセンター
(来場者) 85,278人

- 日本精彩無限 i n 珠海
(日 程) 令和元年9月14日(土)～15日(日)
(場 所) 華僑商都および珠海、深圳市内
(来場者) 約20,000人
- 中国広州M I C Eセミナー
(日 程) 令和元年11月11日(月)
(場 所) 花園飯店
(参加者) 旅行会社10社、13名
- 「日本秋祭り i n 香港」徳島インバウンド商談会
(日 程) 令和元年11月14日(木)
(場 所) リーガルカオルーンホテル
(参加者) 旅行会社、メディア25社、41名
- 国際旅遊博覧会 (SITE2019)
(日 程) 令和元年11月22日(金)～24日(日)
(場 所) 香港コンベンション&エキシビジョンセンター
(来場者) 約130,000人
- 中国深圳徳島観光セミナー
(日 程) 令和元年11月25日(月)
(場 所) 羅湖香格里拉大酒店
(参加者) 旅行会社等9社、10名
- 中国上海教育旅行セミナー
(日 程) 令和元年11月27日(水)
(場 所) 花園飯店
(参加者) 旅行会社等15社、19名

イ. 招請・視察

- 中国、香港M I C E取扱旅行会社招請事業
(日 程) 令和元年12月12日(木)～12月16日(月)
(連携先) 四国ツーリズム創造機構、高松観光コンベンションセンター
(視察先) 祖谷のかずら橋、脇町うだつの町並み、大塚国際美術館、
四国まんなか千年ものがたり等
(参加者) 中国広州、香港の旅行会社 5社、5名
- 中国教育旅行取扱旅行会社招請事業
(日 程) 令和元年12月12日(木)～12月16日(月)
(連携先) 四国ツーリズム創造機構、高松観光コンベンションセンター

(視察先) そらの郷農家民泊体験、阿波おどり会館、技の館、
大塚国際美術館、ゼロウェイスト、アンパンマン列車等
(参加者) 中国上海等の旅行会社 5社、5名

• 旅行会社等の視察支援

(日 程) 令和元年7月3日(水)～7月4日(木)
(視察先) 大塚国際美術館、鳴門観光汽船、阿波おどり会館等
(参加者) 中国深圳の旅行会社 3社、6名

(日 程) 令和元年10月29日(火)
(視察先) 渦の道、大塚国際美術館、阿波おどり会館等
(参加者) 中国上海の旅行会社、メディア 5社、7名

ウ. 受入支援

• 香港からの四国別格霊場ツアー受入支援

(日 程) 令和元年6月18日～19日
(旅行先) 四国別格二十霊場 大山寺、童学寺等
(参加者) 17名

• 香港からの阿波おどりツアー受入支援

(日 程) 令和元年8月15日～16日
(旅行先) 阿波おどり会館、渦の道等
(参加者) 18名

• 中国からの教育旅行受入支援

(日 程) 令和元年1月19日～20日
(旅行先) そらの郷農家民泊体験、阿波おどり会館等
(参加者) 45名

• 中国からのゴルフツアー受入支援

(日 程) 令和2年3月
(参加者) 120名
※新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

⑤ 台湾からの誘致

ア. 商談会・PRキャンペーン

• 訪日台湾教育旅行誘致事業

現地説明会

(日 程) 令和元年6月11日(火)～13日(木)
(場 所) 台北國賓大飯店、台中長栄桂冠酒店、高雄國賓大飯店
(参加者) 262名

(日 程) 令和元年11月4日(月)～12日(火)
(場 所) 台湾国際教育旅行聯盟東分会(台東高級商業職業学校)

國立新竹高級商業職業學校、桃園縣內壢高級中學、台北市立大安高工、台北市私立延平高級中學 他計 12 校

(日 程) 令和2年3月3日(火)～5日(木)

(場 所) 國立中興大學附屬台中高級農業職業學校、高雄市立高雄女子高級中學、國立曾文高級家事商業職業學校

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

交流座談会

(日 程) 令和元年10月29日(火)

(場 所) ホテルイースト 21 東京

(参加者) 台湾学校長他教育旅行関係者80名

・台北国際旅行博覧会

(日 程) 令和元年11月8日(金)～11日(月)

(場 所) 台北市南港展覽館1号館

(来場者) 384,834人

・台湾ロータリークラブ会員企業の社員旅行誘致事業

台北旭日ロータリークラブ会員への徳島PR

(日 程) 令和元年10月1日(火)

(場 所) 台北天成飯店

(参加者) 21名

台北東海ロータリークラブ会員への徳島PR

(日 程) 令和元年10月3日(木)

(場 所) 台北老爺飯店

(参加者) 23名

イ. 招請・視察

・台湾ロータリークラブ会員及び会員企業の社員旅行誘致事業

(日 程) 令和元年11月22日(金)～25日(月)

(視察先) 大塚国際美術館、阿波おどり会館、ゼロウェイスト、薬王寺、脇町うだつの町並み、祖谷のかずら橋等

(参加者) 台湾ロータリークラブ3社、3名

・訪日台湾教育旅行誘致事業

(日 程) 令和元年10月29日(火)～11月2日(土)

(視察先) 城南高校、阿波おどり会館、本藍染矢野工場等

(参加者) 台湾学校長他教育旅行関係者7名

ウ. 訪日台湾教育旅行受入支援

(学校名) 國立花蓮高級中學(生徒36名、教師4名)

(日 程) 平成31年4月15日(月)～16日(火)

(内 容) 徳島市立高等学校と学校交流、阿波おどり会館、
祖谷のかずら橋、大歩危峡観光遊覧船

(学校名) 国立虎尾高級中學 (生徒18名、教師3名)

(日 程) 平成31年4月22日(月)～23日(火)

(内 容) 徳島県立池田高等学校と学校交流、阿波おどり会館、
渦の道、渦潮観潮船

(学校名) 台北市立復興高級中學 (生徒32名、教師等3名)

(日 程) 令和元年5月20日(月)～21日(火)

(内 容) 徳島県立名西高等学校と学校交流、鳴門教育大学視察

(学校名) 台中市青年高級中學 (生徒16名、教師2名)

(日 程) 令和元年5月21日(火)～22日(水)

(内 容) 徳島県立徳島北高等学校と学校交流、南阿波よくばり体験

(学校名) 国立二林高級工商職業學校 (生徒17名、教師2名)

(日 程) 令和元年5月22日(水)～24日(金)

(内 容) 徳島県立つるぎ高等学校と学校交流、脇町うだつの町並、
大歩危峡観光遊覧船、徳島城跡、阿波おどり会館

(学校名) 新北市立新北特殊教育學校 (生徒16名、家族8名、教師9名)

(日 程) 令和元年6月13日(木)

(内 容) 阿波おどり会館

(学校名) 桃園市立經國國民中學 (生徒22名、教師2名)

(日 程) 令和元年10月23日(水)～24日(木)

(内 容) 徳島県藍住町立藍住東中学校と学校交流、祖谷のかずら橋、
阿波おどり会館、渦の道

(学校名) 新北市立中和高級中學 (生徒33名、教師3名)

(日 程) 令和元年12月12日(木)

(内 容) ランプシェード作り体験、着物体験、阿波おどり会館

(学校名) 台中市立文華高級中學 (生徒33名、教師3名)

(日 程) 令和2年2月17日(月)～18日(金)

(内 容) 阿波おどり会館、渦の道

※新型コロナウイルス感染症の影響により延期となった。

⑥ 韓国からの誘致

ア. 商談会、営業活動

・韓国市場商談会 in ソウル

(日 程) 令和元年6月5日(水)

(場 所) ソウルロッテホテル

(商談数) 8社

- 旅行会社等への営業
(日 程) 令和元年6月3日(月)～4日(火)
(訪問先) ソウル市内7社

イ. 受入支援

- 韓国文化財団の視察ツアー受入支援
(日 程) 令和元年7月1日(月)～2日(火)
(内 容) 徳島市阿波踊りの運営方法ヒアリング等
(参加者) 5名
- 韓国青少年連盟の農山村生活体験等支援
(日 程) 令和元年7月23日(火)～24日(水)
(内 容) そらの郷農家民泊、農業体験等
(参加者) 39名
- 釜山市テコンドー協会と地元テコンドークラブとの交流支援
(日 程) 令和元年8月16日(金)～17日(土)
(内 容) 地元テコンドークラブとの交流練習
(参加者) 78名

⑦ その他の国からの誘致

【マレーシア】

ア. 商談会、営業活動

- JAPAN EXPO MALAYSIA 2019
(日 程) 令和元年7月24日(水)～30(月)
(場 所) パビリオンKL (マレーシア クアラルンプール)
(来場者) 約150,000人
- MATTA Fair Kuala Lumpur 2019
(日 程) 令和元年9月6日(金)～8(日)
(場 所) Putra World Trade Centre (マレーシア クアラルンプール)
(来場者) 約102,000人
- ペナン徳島県観光セミナー
(日 程) 令和元年9月9日(月)
(場 所) Vouk Hotel (マレーシア ペナン)
(参加者) 16社、21名
- MATTA Fair Kuala Lumpur 2020
(日 程) 令和2年3月13日(金)～15(日)
(場 所) Putra World Trade Centre (マレーシア クアラルンプール)
※新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

- ・ J N T O ジョホールバルセミナー&商談会
 (日 程) 令和2年3月17日(火)
 (場 所) Double Tree by Hilton (マレーシア ジョホールバル)
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

イ. 受入支援

- ・ ツアー受入支援
 (日 程) 令和元年12月31日(火)~令和2年1月1日(水)
 (旅行先) 祖谷のかずら橋、大歩危峡遊覧船、うずしお観潮船等
 (参加者) 約120名

【タイ】

ア. 商談会、営業活動

- ・ JAPAN DISCOVERY 2019
 (日 程) 令和元年8月17日(土)~21日(水)
 (場 所) ザ・モール バンカピ (タイ バンコク)
 (来場者) 約80,000人
- ・ バンコク四国観光セミナー&商談会
 (日 程) 令和元年10月27日(月)~31日(木)
 (場 所) バンコクS31スクンビットホテル (タイ バンコク)
 (参加者) 25社、38名
 (商談数) 13社

イ. 招請・視察

- ・ 徳島、香川、高知3県連携タイ旅行会社、メディアファム
 (日 程) 令和元年9月24日(火)~28日(土)
 (視察先) 祖谷のかずら橋、阿波おどり会館、渦の道等
 (参加者) 旅行会社、メディア7社、7名

【シンガポール】

ア. 招請・視察

- ・ 徳島、香川、高知3県連携シンガポール旅行会社、メディアファム
 (日 程) 令和元年11月18日(月)~23日(土)
 (視察先) 祖谷のかずら橋、阿波おどり会館、霊山寺等
 (参加者) 旅行会社、メディア7社、7名

⑧ 各種セミナーの開催

ア. インバウンドゴルフツーリズムセミナー

- (日 程) 令和元年9月27日(金)
 (場 所) アスティとくしま 第6会議室
 (参加者) 26名

- イ. インバウンドセミナー「ワールドマスターズおよび危機管理」
 (日 程) 令和元年10月4日(金)
 (場 所) アスティとくしま 第2会議室
 (参加者) 32名

施設等管理運営事業

1. 徳島県立産業観光交流センター(アスティとくしま)管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化

平成28年度から5年間、当協会が引き続き施設の管理運営を担っている。「安全・安心・快適」で「利用しやすい」施設づくりを第一義に、「人・物・情報」の交流拠点を目指し利用者サービスの向上に取り組むとともに、観光コンベンション部門を含めた協会の総力をあげ、施設の稼働率向上に努めた。

また、利用促進を目的とした事業等を積極的に開催し、徳島の魅力を発信する拠点として、にぎわいづくりや地域の活性化を図った。

(2) 利用状況

内 訳	平成30年度	令和元年度	前年比
多目的ホール・会議室			
開館日数	356日	356日	100.0%
稼働日数	232日	217日	93.5%
稼働率	65.2%	61.0%	93.5%
使用料金額(ホール・会議室)	118,229,980円	104,823,243円	88.7%
駐車場			
利用台数	183,497台	166,441台	90.7%
利用金額	36,699,400円	33,288,200円	90.7%

※新型コロナウイルス感染症の影響で3月から催事キャンセル等により稼働日数・収入金額ともに前年度実績を下回る結果となった。

(3) 誘致活動状況

全国展示場連絡会議等にも積極的に参加し、県外コンベンション施設との交流を図り、誘致につながる情報収集を行った。

- ・平成31年 4月25日(木) マイドーム大阪(大阪市)
- ・令和元年 7月25日(木) 浜松市総合産業展示館(浜松市)
- ・令和元年10月31日(木) TFTビル東館(東京都)
- ・令和元年11月14日(木) 浜松市総合産業展示館(浜松市)
- ・令和元年12月12日(木) アスティとくしま(徳島市)
- ・令和2年 2月 6日(木) 浜松市総合産業展示館(浜松市)

(4) 館内設備の維持更新等

施設設備の維持については、経年劣化状況や優先度を把握し、安全性とコストの両面から検討を行い、県との事前協議を綿密に行いながら効率的、効果的に実施した。

(5) 自主事業及び利用促進を目的とした事業展開

① 大会・会議等の誘致事業

コンベンション誘致担当との連携により、コンベンション誘致関連イベントに参加し、各団体や各種大会事務局等と商談することにより、コンベンションの誘致を図った。

ア. 大阪 MICE デスティネーションショーケース 2019

(期 間) 令和元年 12 月 2 日 (月)

(場 所) グランフロント大阪 (大阪市)

イ. 令和元年度中国・四国地区コンベンション誘致懇談会

(期 間) 令和元年 12 月 5 日 (木)

(場 所) 品川プリンスホテル (東京都)

② 地元企業及び学校関係の会合、芸術、文化イベントの誘致

多目的ホールや会議室等の利用促進を図るため、企業の商談会や商品説明会、学校や各種団体の会合、芸術、文化イベントの開催場所として利用していただけるよう、積極的な営業活動を行った。

③ 秋の阿波おどり

秋の観光キャンペーンメインイベント「秋の阿波おどり」を、昨年度に引き続き徳島県と共同開催した。

有名連による阿波おどり乱舞と観客の踊り体験の他、「阿波人形浄瑠璃」、「阿波木偶三番叟まわし」、全国の阿波踊り連を招いて「第 5 回全国阿波おどりコンテスト」や、世界で活躍している阿波踊りグループの代表を招き、「世界阿波おどりサミット」を開催した。

また、県内の特産品やグルメ、民芸体験、観光・物産事業等の紹介ブース等の出展により、交流人口の拡大やにぎわいの創出による地域活性化を図った。

あわせて、事前に県外の旅行会社等への営業活動や PR キャンペーン等を行い、県外からの誘客を図った。

(開催日) 令和元年 11 月 2 日 (土) ~ 4 日 (月・休)

(入場者) 延べ 26,000 名



④ アスティおどりひろば (県指定事業)

夏の阿波おどり開催期間中の昼間対策として実施する「アスティおどり

ひろば」は、「県内有名連による上演」に加え「阿波おどり体験」や「阿波踊り浴衣の着付け体験」などを継続して実施した。

また、PR用リーフレットを早期に作成、配布し、県外旅行会社への誘客営業や、会場内の飲食、特産品コーナーの充実を図り来場者増に努めた。

なお、最終日 15 日（木）は台風 10 号接近のため中止した。

（開催日）令和元年8月12日（月）～14日（水）

（入場者）延べ6,900名



⑤ 阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧

多目的ホールの空き日については、可能な限り有名連の「はな・はるフェスタ」や「夏本番の阿波おどり」の練習場所として提供しているが、これらの情報をマスメディアや市内宿泊施設等に情報発信し、多くの観光客等に観覧していただくことで、にぎわいの創出やおもてなしの向上に繋がった。



（はな・はる・フェスタ練習）4月、3月：10日間開催

（夏の阿波おどり練習）7月：3日間開催

⑥ ふれあい広場等を活用した観光情報発信

ふれあい広場は、県や市町村等と連携し、県内各地のタイムリーな話題や観光情報を提供する場として有効活用しており、今年度も引き続き写真展やパネル展等を開催し、県内各地のPR活動を支援した。

開催期間	展示内容
4/18～ 5/29	南阿波の観光の魅力紹介展
6/ 3～ 8/31	日和佐八幡神社秋祭り ちょうさ（太鼓屋台）写真展
7/10～12/25	阿波藍日本遺産認定記念展示
9/ 3～ 9/27	第6回千年のかくれんぼフォトコンテスト写真展
9/30～10/31	吉野川市の絶景 阿波忌部ゆかりの地写真展
11/1～ 1/21	第13回とくしま花のある風景フォトコンテスト写真展
1/24～ 3/31	鳴門百景フォトコンテスト写真展
2/ 1～ 3/31	アスティひな祭り

⑦ とくしま花のある風景フォトコンテスト

本県の美しい花の名所を写した作品を募り、広く周知する目的で開催し好評を博している「第13回とくしま花のある風景フォトコンテスト」を継続開催した。

また、ふれあい広場で入賞作品を含む応募者の作品を掲出した写真展も併せて実施することにより周知、集客を図った。

（募集期間）令和元年8月27日（火）～9月30日（月）

(応募者数) 86名
(作品数) 207点

⑧ 明日亭徳島落語会

今回は「桂 七福」の落語と「とくしま玉すだれ会
による南京玉すだれ」の演目を幕間に入れ、「第 16
回明日亭徳島落語会」を継続開催した。

(開催日) 令和2年1月5日(日)

(入場者) 120名



⑨ ドローンプログラミング教室

各方面で利活用が図られている「ドローン」を使用
し、小中学生を対象に、プログラミングの基礎を楽し
く学びながらドローンを飛ばして競うイベントを開催
した。

(開催日) 令和2年1月25日(土)

(参加者) 40名



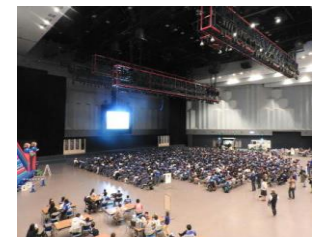
⑩ スポーツイベント パブリックビューイング

多目的ホールの空き日を利用して、徳島ヴォルティ
スアウェイ戦のパブリックビューイングを開催した。

(開催日) 令和元年11月16日(土)

徳島ヴォルティス 対 東京ヴェルディ

(入場者) 1,300名



⑪ 環境対応施策

今年度も、クールビズやウォームビズ対応に引き続き取り組むとともに、
照明器具等を適宜照度効率の高いLED照明器具に交換する等、省エネ、
環境対策を図った。

⑫ その他

予約管理システムやホームページ等は、更なる利用者サービスの向上を
図るため適宜改良や更新を行い、より利便性の高い施設づくりに努めた。

2. 徳島県立男女共同参画交流センター(ときわプラザ)の管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化

「アスティとくしま」と同様に平成28年度から5年間、引き続き施設の管
理運営を担っており、「安全・安心・快適」かつ「利用しやすい」施設づくり
を第一義とし、「人・物・情報」の交流拠点を目指し、利用者サービスの向上
に取り組んだ。

また、各関係者等との連携を密にしながら、「アスティとくしま」を含めた

一体的な施設運営や営業、広報活動を行い、「ときわホール」や研修室等の利用率向上と来館者数の増加に努めた。

(2) 利用状況

内 訳	平成 30 年度	令和元年度	対前年比
ときわホール			
開館日数	353 日	354 日	100.3%
稼働日数	147 日	132 日	89.8%
稼働率	41.6%	37.3%	89.7%
使用料金額(ホール・研修室)	6,018,920 円	5,804,740 円	96.4%
展示ギャラリー			
開館日数	353 日	354 日	100.3%
稼働日数	156 日	152 日	97.4%
稼働率	44.2%	42.9%	97.1%

※新型コロナウイルス感染症の影響で3月から催事キャンセル等により稼働日数・収入金額ともに前年度実績を下回る結果となった。

(3) 誘致活動状況

アスティとくしまと同様に、大会・学会等誘致と併せた利用促進に努めた。

(4) 事業実施状況

項 目	実施概要
徳島新聞「映画と催し」欄への掲載	「アスティとくしま」と同様に掲載し、利用者サービスの向上と施設のPRに努めた。

3. 徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館（エディ）の管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化

渦の道等の管理運営については、共同管理運営者である(株)ネオビエントと連携し、自主事業の開催や国内外の旅行会社等に対し営業活動を行い、入館者数の拡大と顧客満足度の向上に取り組んだ。

(2) 利用状況

内 訳	平成 30 年度	令和元年度	前年比
渦の道			
入館者数	515,962 人	547,826 人	106.2%
入館料	200,560,590 円	215,249,860 円	107.3%
エディ			
入館者数	87,378 人	79,820 人	91.4%
入館料	38,137,140 円	35,341,940 円	92.7%

※新型コロナウイルス感染症の影響で3月は個人・団体客とも減少し、エディは前年度実績を下回る結果となった。

(3) 徳島県立渦の道及び大鳴門橋架橋記念館エディの利用促進等

① 鳴門公園地域渋滞対策事業

観光客が集中するGW(4/27~5/6)、お盆期間(8/11~14)に、徳島県や鳴門市、地元関係機関協力のもとシャトルバスを運行し、鳴門公園地域の渋滞緩和に努めた。(8/15は台風10号のためシャトルバス運行中止)

② 旅行会社等への営業活動

四国ツーリズム創造機構が主催する商談会や、県、鳴門市うずしお観光協会等が実施する旅行会社営業に同行し送客依頼を行った。また、四国インバウンド商談会に参加し、東アジアの旅行会社を中心に営業活動を行い誘客に努めた。香港での現地営業では徳島県PR隊の一員として誘致活動を行った。

③ SNSの積極的な活用

SNSを活用し渦潮の見頃時間やイベント情報、鳴門公園周辺の観光やグルメ等の情報を発信した。更に、多言語化を図り外国人に向けても情報発信し利用促進を図った。

④ オンライン入場券の販売

ホームページからオンラインで入場券を販売(国内外から可能)する運用を開始し、窓口チケット購入の手間を省くと共に、スマートフォンの画面で購入したチケットを提示することで効率的な入場も可能にした。

⑤ 阿波おどりの上演

阿波おどり有名連に、渦の道展望室とエディ屋上で踊りの上演や、観光客への踊りレッスン、記念撮影等を行い、利用促進及びお客様の満足度向上に努めた。

(上演日数) 9月~11月の計9日間



(4) 渦の道の利用促進

① 迎春イベントの開催

初日の出イベントとして元旦午前6時30分に開館し、阿波晩茶の振る舞いにより特産品のPRに努めた。また、報道機関等に情報提供することにより利用促進に繋がった。

(初日の出来場者) 343名

② ボランティアガイド「鳴門公園コンシェルジュ」

お客様のニーズに対応できるよう、本四高速(株)協力のもと、大鳴門橋ができるまでの解説や、実地研修として管理通路やアンカレイジ等の見学を行いスキルアップに努めた。

(研修日) 9月9日、(参加者) 9名

③ 渦の道開館時間の延長

営業時間外に渦潮が発生する日は、お客様や旅行会社から問い合わせや開館延長の要望が多いため、営業時間を延長し対応した。

(時間延長) 23日間、(延べ人数) 2,484名

④ 香港チャーター便就航受入態勢の強化

香港からのお客様をおもてなすため、入口にウェルカムボードを設置するとともに、オリジナルのポストカードとスタッフ手作りの折鶴をセットしプレゼントした。また、中国人スタッフから季節に応じた挨拶を学び、中国語での挨拶による歓迎ムードを高めた。

⑤ 鳴門公園全体のにぎわいづくり

「鳴門公園うずうず散歩道」公園マップを、近隣施設や店舗と情報共有を図りながらリニューアルし、SNSとリンクさせるなど、鳴門公園内の観光案内や周遊促進ツールとしての役割を担えるよう作成し、徳島県内や関西エリアを中心に配布した。

(5) 大鳴門橋架橋記念館エディの利用促進

① 「多目的スペース」を活用し催事開催

- ・千年のかくれんぼ写真展(7月1日~31日)
- ・鳴門百景フォトコンテスト写真展(10月8日~30日)
- ・海と日本プロジェクト環境展(10月14日~11月24日)
- ・ムヤくんのゲームに挑戦!(通年)
- ・キッズルーム(通年)

② 企画展の開催

渦潮をテーマにした「うずしおゲーム」渦潮の流れの中で魚を操り得点を競うゲームや、渦潮を操り対戦する格闘ゲームのほか、太鼓の音に合わせて壁に投影されたCG映像(大鳴門橋と鳴門鯛)が呼応し動く「魔法のたいこ」を設置し利用促進に努めた。

